

【概 要】

物質と電磁波の相互作用を利用した微量分析法として、あらゆる分野で利用される機器分析の原理、応用について学ぶ。

最近の機器分析に関する技術的革新は、従来不可能であった新しい研究分野の誕生をも促している。薬学領域においても機器分析の発展はめざましい進歩を遂げ、あらゆる場面で機器分析が用いられており、その理論、原理を十分に理解して実際の分析を行わなければならない。

本講義では、薬学領域で汎用される分析法、即ち、物質と電磁波の相互作用を利用した種々の分光学的測定法の原理について理解し、その応用法を学び、的確な分析法の開発能力を培うことを目的とする。

【授業実施形態】

面接授業

※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による